

スイッチングモード 直流安定化電源 60Aタイプ

GZV6000 (DC1V~15V可変)

DIAMOND
ANTENNA

取扱説明書

このたびは、スイッチングモード直流安定化電源をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前に、この「取扱説明書」と「安全上の注意」を良くお読みのうえ、正しくお使いください。
また必要なときに読めるよう大切に保管してください。

●用途

この製品は、DC1~15Vを使用するアマチュア無線用機器を家庭用AC100Vで使う場合に必要な電源装置です。

●設置上の注意

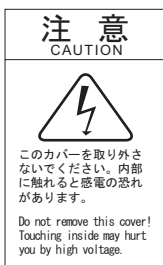
1. 落雷、漏電時の保安対策のため必ず本体底面にあるアース端子に、アース線を接続してください。
2. 直射日光、湿気、ほこりの多い場所は避けてください。
3. 水平な場所に設置してください。メーターの示す値が変わる恐れがあります。

●取扱上の注意

1. バッテリー充電、ランプ、モーターなどの電源として使用すると、起動時に定格の数倍の電流が流れて故障の原因となります。
2. 本機は連続60Aです。
3. 定格外のヒューズを使わないでください。定格以上の電流が流れた場合、無線機および本機が破損します。
4. この電源を用途以外で使用された場合に発生した故障、事故は一切の責任を負いかねます。

●注意表示

電源本体の真上の
注意表示です。



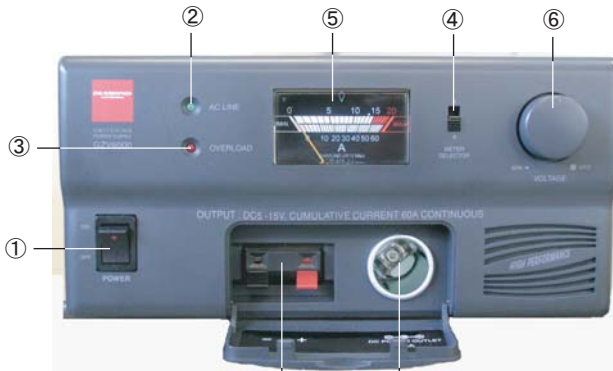
●接続方法

1. 必ず本機の電源スイッチをOFFにしてから差込プラグを家庭用AC100Vコンセントに差し込んでください。
2. 接続する無線機のスイッチがOFFになっていることを確認します。無線機からの電源コードを本機の出力端子にしっかりと固定します。+と+、-と-をよく確認して正しく接続してください。また、他の無線機や機器を同時に接続する場合には、それぞれの電源コードを本機の出力端子にしっかりと固定してください。
3. 本機の電源スイッチをONにして接続する無線機の規格に合うようにVOLTAGE CONTROLLERのつまみを回し、(V)メーターの電圧を合わせます。
4. 無線機の電源スイッチをONにします。
(注) 電源を切る場合は、無線機などの電源スイッチをOFFにしてから本機の電源スイッチをOFFにします。
5. シガープラグ型アダプターをお使いになる場合はケースがー(マイナス)になるように設計されていますので極性には十分注意してください。

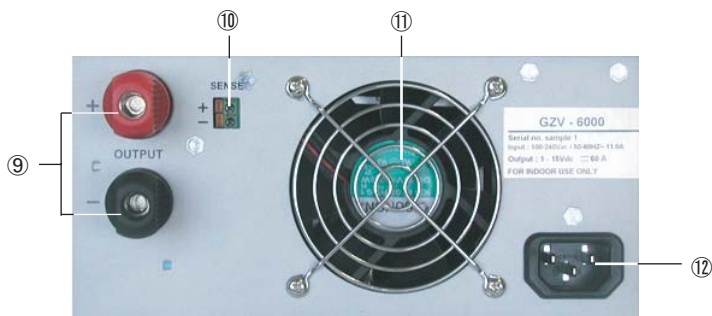
●各部の名称とはたらき

- ①POWER:ONで電源が入り、OFFで電源が切れます。
- ②AC LINE:POWER ONで点灯し、OFFで徐々に消えます。
- ③OVERLOAD:保護回路が働くと点灯します。

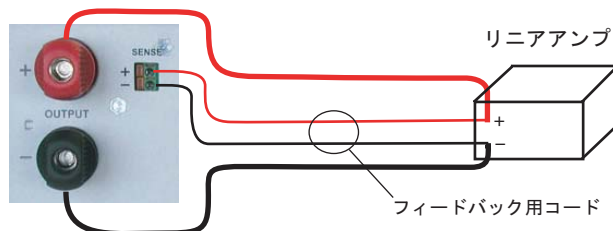
- ④METER SELECTOR:出力電圧、出力電流の表示切替スイッチです。
- ⑤メーター:V、各出力端子の電圧を示します。
:A、各出力端子の合計電流を示します。
- ⑥VOLTAGE CONTROLLER:出力電圧をDC1V~15Vまで変えることができます。クリックの位置で13.8Vとなります
- ⑦DC POWER OUTLET:シガープラグ型のアダプターを使う場合のソケットで最大10Aまでです。(車で使っているシガーライターは使用できません。)
- ⑧出力端子:6Aまでが使用できる小電流のスナップ端子です。赤が+(プラス)黒がー(マイナス)です。



- ⑨出力端子:60A連続が得られる端子です。赤が+(プラス)黒がー(マイナス)です。
- ⑩Remote Sensing:電源コードのロスによる電圧低下を補正するときに使用します。
- ⑪冷却ファン
- ⑫AC電源端子:付属の電源コードを接続してください。
- ⑬アース端子:太い線を使用し地中との間に保安用のアースを必ずとってください。ガス管、水道管は危険ですので絶対に接続しないでください。



- リモート・センシング (Remote Sensing) 端子の使い方
特に大電流を必要とするリニアアンプなどをお使いになるときは、接続する電源コードのロスによってリニアアンプなどに供給される電圧が低下して性能を発揮できないことがあります。この場合には、リニアアンプなどから本機のリモート・センシング端子にフィードバック用のコードを接続することで出力電圧を自動的にコントロールし、無線機に一定の電圧を供給することができます。



●リモート・センシング(Remote Sensing) 端子使用上のご注意

1. 供給可能な出力電圧は最大15Vです。
2. 本機背面の大電流出力端子と前面パネルのスナップ端子、及びシガープラグ型アダプターの出力電圧は連動しています。リモート・センシング端子を使用しているときには、前面パネルのスナップ端子とシガープラグ型アダプターには何も接続しないでください。故障の原因となります。
3. フィードバック用のコードは0.5sq(スクエア)程度のビニール線で充分です。

●特徴

1. 過電流保護回路を内蔵
定格以上の電流になると自動的に保護回路がはたらき出力電流、出力電圧とも低下させ電源回路の破損を防ぎます。
(保護回路がはたらいたときは速やかに無線機器等を外してください。長時間そのままの状態では加熱して回路が破損や火傷の恐れがあります。)
2. 高周波の回り込みに強い
高周波の回り込み等の影響を極力抑えた設計となっています。
3. 車載用の無線機も家庭で使用できます
DC POWER OUTLET付きなので車載用の無線機器等も容易に接続できます。
4. 広範囲な出力電圧が設定可能
VOLTAGE CONTROLLERによりDC1V~15Vまでの範囲で電圧を設定できます。
5. 電源コードの損失による電圧低下を補正可能
REMOTE SENSING端子を使うことにより、無線機の性能を最大に発揮することができます。

●出力電圧についてのご注意

1. 本機をご使用になる前に、必ず出力電圧を確認してから無線機などの電源スイッチをONしてください。規格以上の電圧で無線機などが破損する可能性があります。
2. 本機は出力電圧を1V~15Vの範囲で可変することができますが、10V以下でお使いになる場合には、必ずテスターで電圧を確認してからご使用ください。規格以上の電圧で無線機などが破損する可能性があります。

●ヒューズ交換について

AC100Vのヒューズは本体内部に収納されています。ヒューズの交換は販売店にお申し付けください。



ヒューズ(20A)

●定格

入力電圧: AC100V±5% (50/60Hz)
出力電圧: DC1V~15V
出力電圧変動: 2%以下(定格時)
出力電流: 連続60A(8時間)
効 率: 80%以上
過電流保護回路: 66A±1Aで動作
リップル電圧: 5mV以下(定格時)RMS
ヒューズ: 20A
放熱方式: 強制空冷ファン
重 量: 5.8Kg
寸 法: 210(W) × 110(H) × 380(D)mm(突起物を除く)

●故障かな?と思ったら

☆症状 なにも接続しないのに電源スイッチを入れておくだけで温まる。
故障ではありません。本機が動作するのに必要な最低電流が流れているので多少温まります。手で触れないほど熱くなったときは異常です。直ちに差し込みプラグを抜き、販売店にお持ちください。

☆症状 動作中に本体が熱くなる
・故障ではありません。消費電流に応じ発熱量も多くなります。
・本体に空いている通気穴をふさがないようにしてください。

☆症状 電源スイッチを入れたらOVERLOADのランプが一瞬点灯する。
・これは異常ではありません。
・点灯し続ける場合は、無線機器などの接続コードを外して再度ご確認ください。無線機器等の消費電流が本機の定格を越えていると思われるので、無線機器等の定格を確認してください。

☆症状 無線機を送信状態にすると出力電圧が低下する
・出力電圧がわずかに下がり、待ち受け状態にすると出力電圧が戻る場合は故障ではありません。
・出力電圧が極端に下がり、OVERLOADが点灯する場合は無線機器等の消費電流が本機の定格を越えていると思われるので無線機器等の定格を確認してください。

☆症状 電源スイッチを入れたが電流計が動かない
・無線機器等は接続されていますか?
・無線機器等の電源スイッチは入っていますか?
・無線機器等の待ち受け状態では消費電流が小さく、電流計は少ししか振れません。

☆症状 電源スイッチを切ってもしばらくパイロットランプが消えない
異常ではありません。内部に充電された電気が放電するまで点灯しています。

■お買いあげいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故などによる破損がありましたら、販売店にお申し付けください。

■この製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

安全上の注意

直流安定化電源をお使いの人へ

ご使用前にこの「安全上の注意」と「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、必要ときに読めるよう大切に保管してください。

絵表示について

この「安全上の注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると人が死亡または重症を負う可能性が想定されます。




注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。




注意（警告を含む）を促す内容があることを伝えるものです。

たとえば、 は「高温注意」を示しています。




禁止の行為であることを伝えるものです。

たとえば、 は「分解禁止」を示しています。



行為を強制したり指示する内容を伝えるものです。

たとえば、 は「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」を示しています。

警告



■万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・管電・故障の原因となります。

すぐに電源スイッチを切り、その後必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなること、他に異常がないことを確認して、販売店に修理を依頼してください。お客様が直接修理することは危険ですから、絶対におやめください。



■この機器を改造しないでください。

火災・感電・故障の原因となります。

■この機器のカバー、前面パネルは外さないでください。感電・故障の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店へ依頼してください。



■指定された電源電圧（家庭用AC100V）でお使いください。それ以外電圧を使用すると火災・感電・故障の原因となります。

■電源コードを傷つけたり、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったり、無理に曲げたりしますとコードが破損し、そのまま使用しますと火災・感電・漏電・火傷・故障の原因となります。

芯線の露出、断線など破損した場合は、販売店へ修理を依頼してください。



■万一、この機器を落としたり、前面パネルを破損した場合は、本器本体の電源スイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

その後、販売店に連絡し、点検修理を依頼してください。そのまま使用しますと火災・感電・故障の原因となります。



■電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



■ぐらついたりした台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、怪我の原因となります。



■この機器にあいている通気穴から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。小さなお子様のいるご家庭では特に注意してください。



■万一、異物が機器の内部に入った場合は、本体の電源スイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店に点検修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



■この機器の上に、花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器または、小さな金属物などを置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



■万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店に点検修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



警告

■この機器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して怪我の原因となります。



■お手入れの際は、安全のために差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

■旅行などで長期間、この機器を使用しないときは、安全のため必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

■移動させる場合は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜き、無線機の電源コード外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電・故障の原因となります。



■差し込みプラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。必ず、差し込みプラグをもって抜いてください。

■濡れた手で、差し込みプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

■電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電・火傷・故障の原因となります。



■この機器の通気穴をふさがしないでください。通気穴をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

次のような使い方はしないでください。

- ・押し入れ、木箱などの風通しが悪く、狭いところに押し込む。
- ・テーブルクロスをかけたり、じゅうたんや布団の上に置く。



■無線機を接続する場合、プラス＋、マイナスーの表示に注意し、機器の表示通り正しく接続してください。

間違えると内部回路が破損し、火災・感電の原因となります。



■調理台や加湿器のそばなどの湿気や油が当たる場所では使用しないでください。また、ほこりの多い場所で使用しないでください。

その様な環境で使用しますと、内部が急速に腐食し火災・感電・漏電・故障の原因となります。

尚、通電していない場合でも、腐食は進みますのでなるべく乾燥した所で保存してください。



■機器内部にほこりなどがたまっただと思われる場合、内部の清掃を販売店などにご相談ください。ほこりがたまっただま使用を続けると、火災・感電・漏電・故障の原因となることがあります。



■本器に無線機や他の機器を同時に接続する場合には、必ず、それぞれの電源コードを本機に接続してください。無線機など大電流を必要とする危機のマイナス線を外したまま他の機器を接続して使用すると、他の機器が破損し、火災・感電の原因となります。